

# 洋風便器 (排水芯可変タイプ)

(Y)BC-ZA10AH系 (Y)HBC-ZA10AH系  
(Y)BC-ZA20AH系 (Y)HBC-ZA20AH系



このQRコードは  
メーカー管理用です。

### 取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 「注意しなさい！」  
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ 「してはいけません！」  
(一般的な禁止記号です。)

❗ 「指示通りにしなさい！」  
(一般的な行動指示記号です。)

## 警告

⊘ 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※感電・火災の恐れがあります。  
水かけ禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ 絶対に分解や改造は行わないでください。  
※感電・火災・ケガの原因になります。  
分解禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ めれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※感電の原因になります。  
ぬれ手禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。  
※感電・火災の原因となります。  
水場使用禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ 電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。  
禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※感電・火災の原因になります。  
禁止 (100V電源使用の場合)

⊘ AC100V以外では使用しないでください。  
●タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。  
※火災の原因となります。(100V電源使用の場合)

❗ 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※感電・火災の原因になります。  
指示実行 (100V電源使用の場合)

## 注意

❗ 陶器は割れものです。  
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
※破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

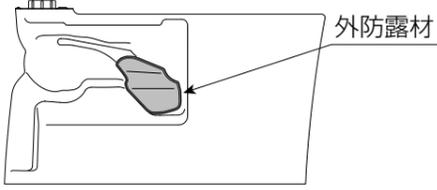
❗ 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※漏水し、室内浸水の原因になります。

❗ お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

## 施工前のご確認

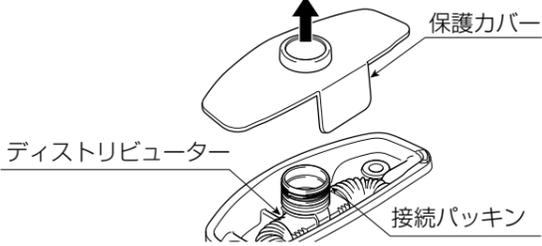
### 開梱時の注意

⊘ 外防露材は外さないでください！  
※外してしまうと、再度取付けることができません。また、結露で床を濡らすことがあります。



❗ ディストリビューターの保護カバーは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず外してください！

※施工前に保護カバーを外してしまうと、接続パッキンにゴミが付着し漏水の原因になります。  
※保護カバーを外し忘れ、タンクまたはシャワートイレと正常に施工できず漏水の原因になります。



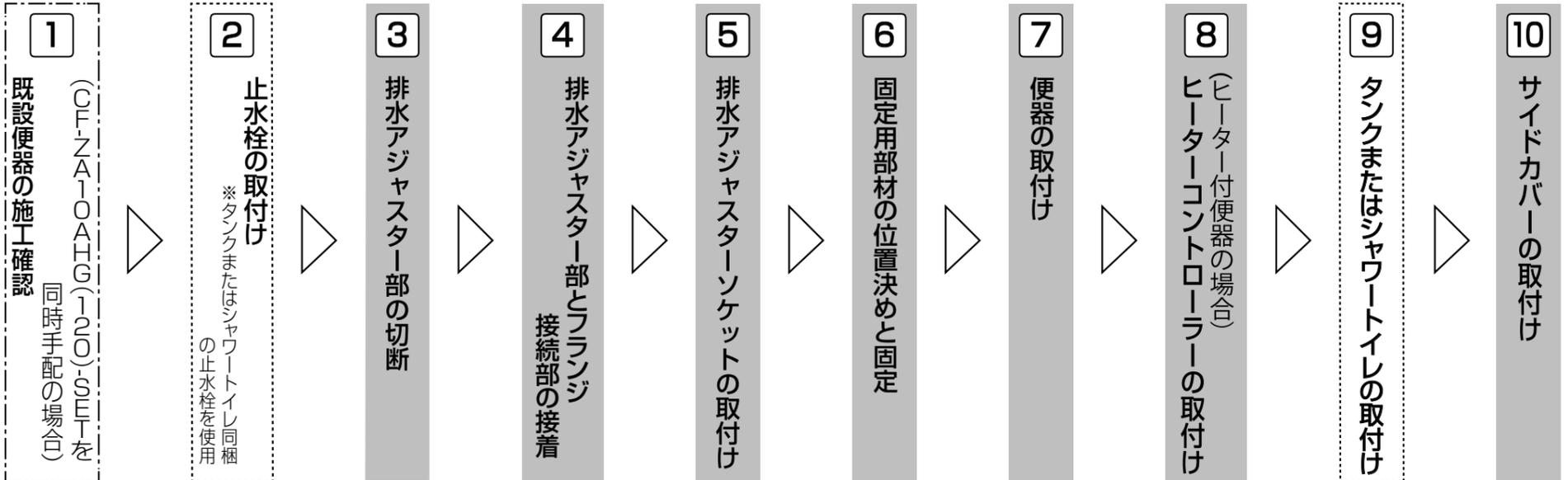
### 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

品番によって同梱される部材がかわります。

便器	排水アジャスターソケット	サイドカバー	施工説明書
 便器：1台 (ヒーター仕様を手配の場合は、ヒーターコントローラーが付属しています。)	 排水アジャスター部：1個	 フランジ接続部：1個 サイドカバー：左右各1枚 (同梱されない場合があります。)	 施工説明書：1部
ねじ類			固定部材セット
化粧キャップ：2個 床固定用木ねじ：2本 (φ6×45) (AY仕様を手配の場合は、AYボルト(AY-86D：2本)が同梱されます。)	ワッシャー：4個 (φ18) ナット：2個	固定用木ねじ：2本 (φ6×40) ワッシャー：2個 (φ23) (AY仕様を手配の場合は、AYボルト(AY-23W：2本)が同梱されます。)	フランジナット：2個 ワッシャー：2個 (φ22) Tボルト：2本 固定用粘着材：1個 床固定部材：1個 施工型紙：1枚

## 施工手順

[ ] は、CF-ZA10AHG(120)-SET同梱の「はじめにお読みください」をご確認ください。  
[ ] は本書を、[ ] はタンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って正しく取付けてください。



# 給水・排水芯範囲

## 使用する水について

- シャワートイレをお使いの際は同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で接続ください。

## 止水栓・給水範囲について

- タンクまたはシャワートイレに同梱されている止水栓を使用します。
- 便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ(LF-7Tを推奨)などでカバーをしてください。
- 給水範囲が所定の位置にあるか確認をしてください。対応できる給水範囲は下記になります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。

## 排水芯について

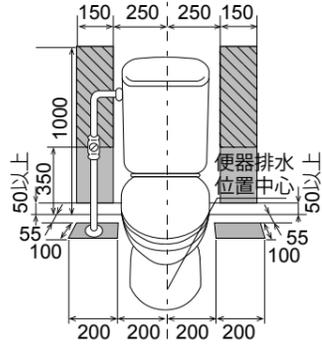
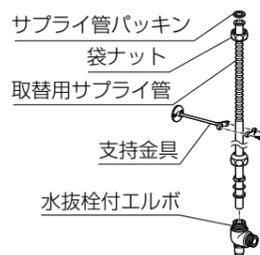
- 既設便器がフランジ施工でない場合、もしくは既設フランジを取り替える場合は、CF-200S(またはCF-200S-AY)を別途手配してください。CF-200Sに同梱の施工説明書に従って既設ソケットを取外し、変換アダプターと床フランジの取付けを行ってください。
- 便器を取付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。タンクまたはシャワートイレと壁が干渉して施工できない恐れがあります。

### A 密結・平付ロータンクの場合

既設の便器が密結・平付ロータンク等で給水位置が右記の  と  の場合。  
→同梱の給水部材で設置可能です。

給水位置が右記の  で目つ水抜方式の場合。  
→水抜きが出来ないため下記の部材が別途必要になります。

取替用水抜栓セット  
A-7962

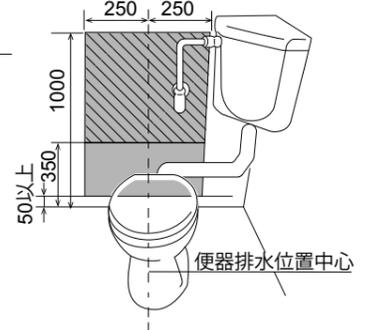


※シャワートイレの場合、こちらの部材は使用しません。

### B 隅付ロータンクの場合

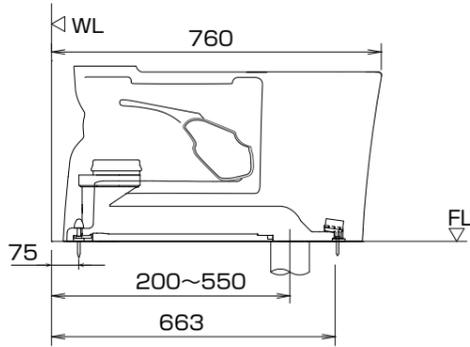
既設の便器が隅付ロータンク等で給水位置が右記の  と  の場合。  
→取替用止水栓TF-3892ERが別途必要になります。

水抜方式を施工する際に、給水位置が右記の  の場合。  
→水抜きが出来ないため、取替用止水栓と水抜栓付エルボA-3850が別途必要になります。



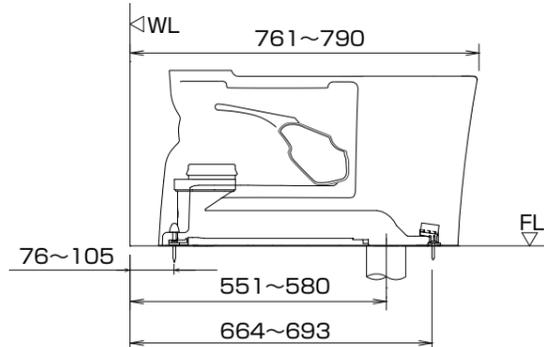
※シャワートイレの場合、こちらの部材は使用しません。

### 排水芯200～550mm



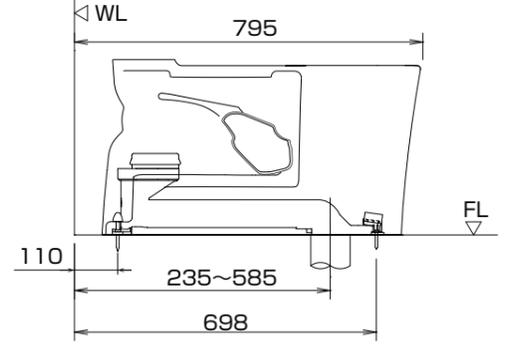
### 排水芯551～580mm

便器を前に出すことにより施工可能です。  
ただし 便器前出寸法は大きくなります。



### 排水芯235～585mm

❶ 便器を 35mm 前に出して施工します。  
ただし 便器前出寸法は大きくなります。



# 施工のポイント

#### Point 7

強く締めすぎて便器を割らないこと。  
= 7 便器の取付け

#### Point 1

CF-ZA10AHG(120)-SETを同時手配した場合は、そちらを先に開梱してください。  
= 1 既設便器の施工確認

#### Point 3

排水アジャスターソケットを床へ固定する際には、不陸にご注意ください。  
※排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。  
= 5 排水アジャスターソケットの取付け

#### Point 2

塩ビ用接着剤は必ず両方に塗布すること。  
排水アジャスター部とフランジ接続部の奥まで差し込むこと。  
= 4 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

#### 保護カバー

#### Point 8

ディストリビューターの保護カバーは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず外してください。  
= 9 タンクまたはシャワートイレの取付け

#### 固定用粘着材

#### Point 5

気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
②20～30℃のぬるま湯で温める。  
など柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。  
= 7 便器の取付け

#### Point 6

切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 7 便器の取付け

#### 床固定部材

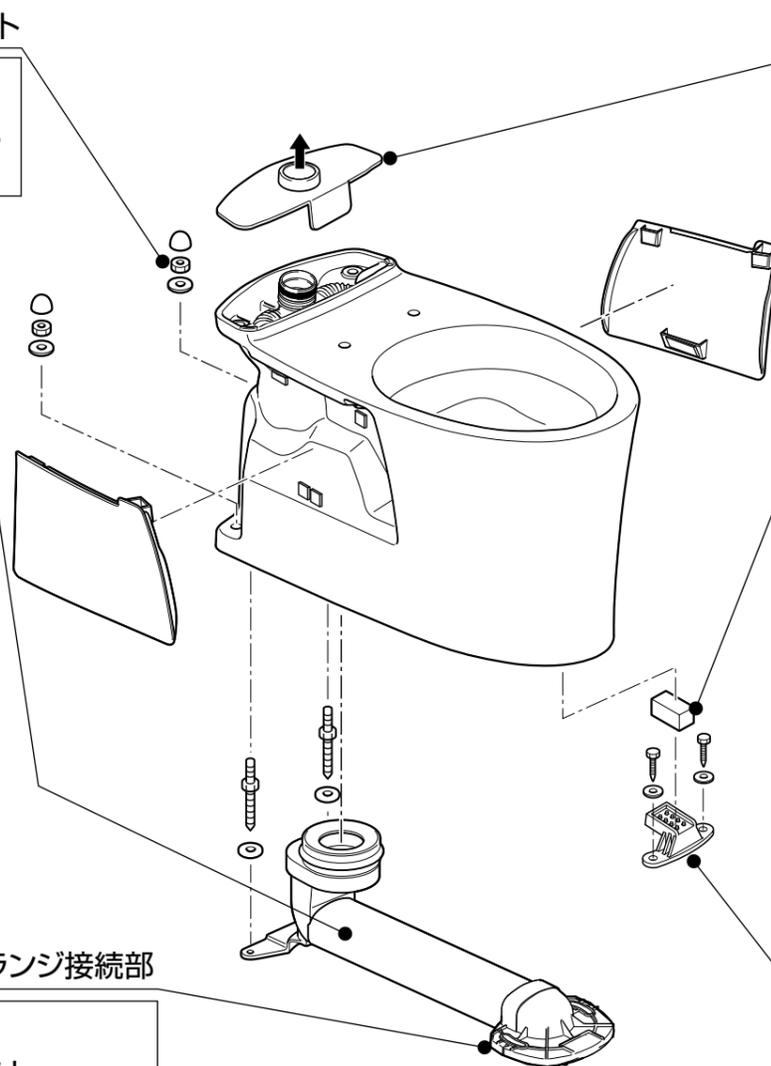
#### Point 4

施工型紙を使用して位置決めすること。  
= 6 固定用部材の位置決めと固定

#### ナット

#### 排水アジャスターソケット

#### フランジ接続部



## Point 1

□ は、CF-ZA10AHG(120)-SET同梱の「はじめにお読みください」をご確認ください。

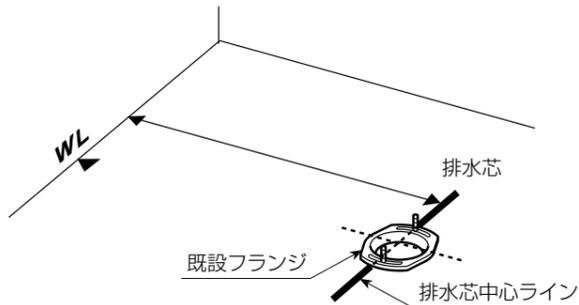
□ は、タンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って正しく取付けてください。

### 1 (CF-ZA10AHG(120)-SETを同時手配の場合) 既設便器の施工確認

### 2 止水栓の取付け

### 3 排水アジャスター部の切断

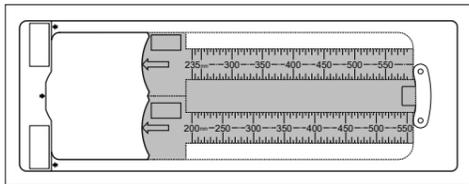
- (1) 排水芯を測定する。  
排水芯中心ラインを壁と平行に書き、後ろの壁から排水芯までを測定します。



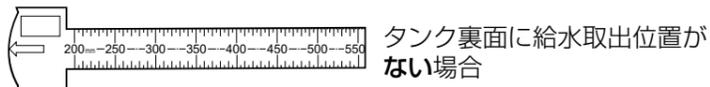
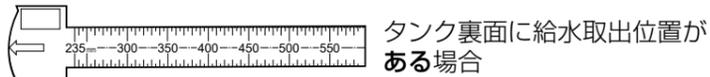
#### ⚠ 注意

- 便器の位置を決める重要な線です。排水芯中心ラインを必ず引いてください。  
※ 壁と平行に線を引かないと、便器・タンクまたはシャワートイレが壁に干渉する恐れがあります。

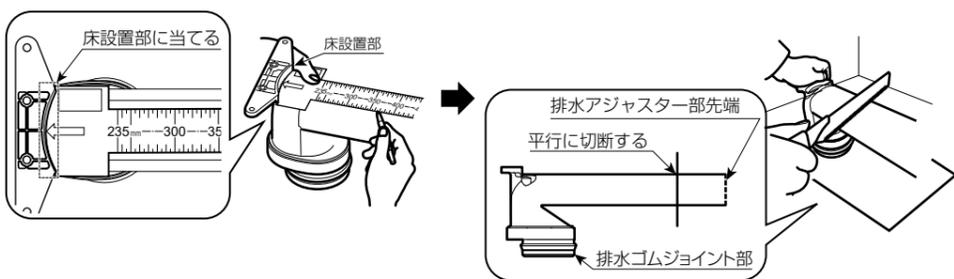
- (2) 施工型紙の □ 色部分を切り取る。  
□ 色部分は、排水アジャスター部切断のメジャーになります。



- (3) 切り取った型紙のメジャーを選定する。  
給水、排水芯範囲を確認してメジャーを選定してください。  
選定したメジャーを切り取ります。



- (4) 排水アジャスター部を切断する。  
排水アジャスター部の下に梱包材などを敷いてください。  
排水アジャスター部を裏返し、切り取ったメジャーを床接地部に当て、排水芯の目盛りで切断します。

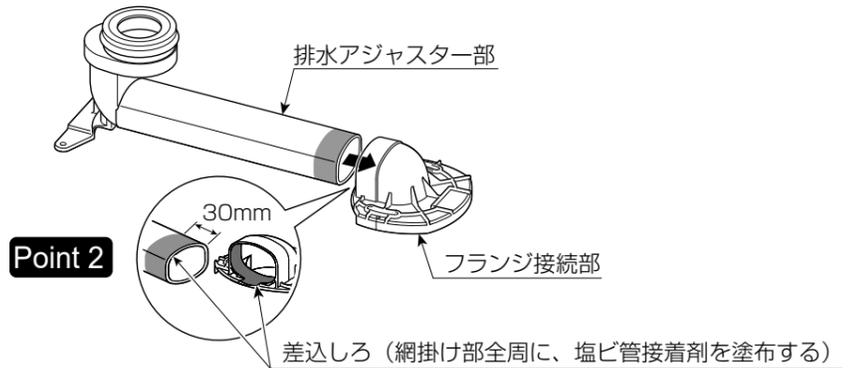


#### ⚠ 注意

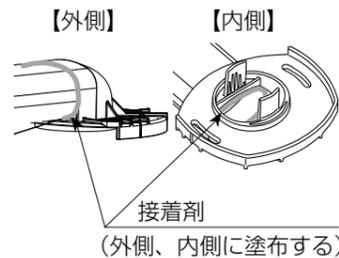
- 排水アジャスター部を長く切らないでください。  
※ 便器が壁寄りに設置されてしまうため、便器と壁が干渉し、施工できない恐れがあります。
- 排水アジャスター部やフランジ接続部を落下させないでください。  
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 切断は排水アジャスター部先端と平行になるように行ってください。  
※ 斜めに切断すると、漏水・臭気発生の原因になります。
- 切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。  
※ バリがある事で、漏水する恐れがあります。
- 切断時に排水ゴムジョイント部を傷つけないようにしてください。  
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。

### 4 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

- (1) 排水アジャスター部とフランジ接続部に接着剤を塗る。  
差ししろ (□ 部分) に塩ビ管用接着剤を2.3回重ね塗りします。

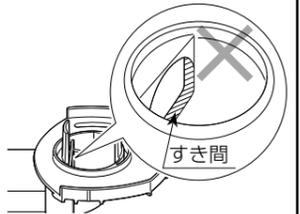


- (2) フランジ接続部を差し込み、接続部両端に接着剤を塗る。  
フランジ接続部を奥まで差し込み、内側外側の端部 □ 色部分に塩ビ管用接着剤を塗ります。



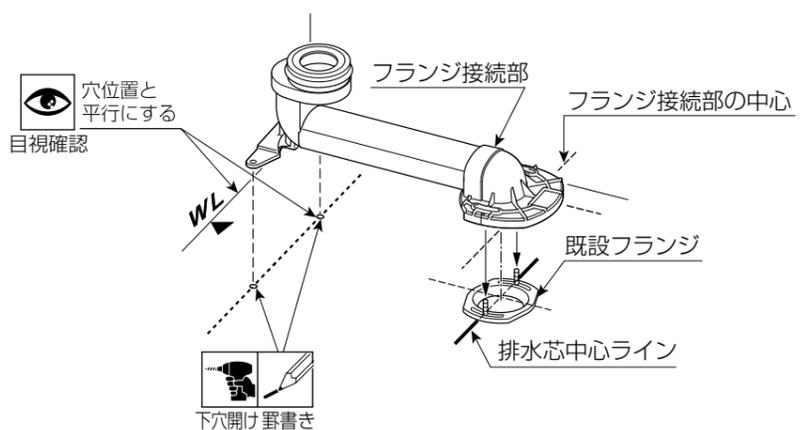
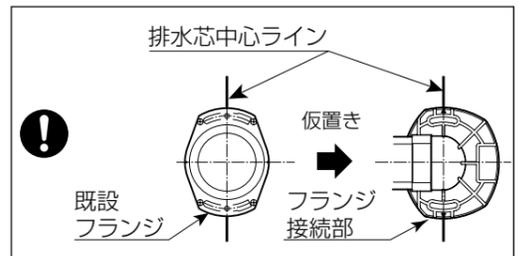
#### ⚠ 注意 Point 2

- 奥までの差し込み・両端部に接着剤塗布が確実にしている事を確認してください。  
※ 不十分ですと、漏水・臭気発生の原因になります。

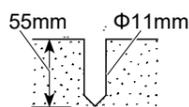


### 5 排水アジャスターソケットの取付け

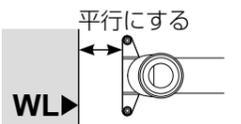
- (1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。  
③-(1)で引いた排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて排水アジャスターソケットを後ろ壁に対して平行に仮置きし、けがき・下穴をあけます。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AYボルト (AY-86D) を使用するため下穴 (径11、深さ55) を開ける。



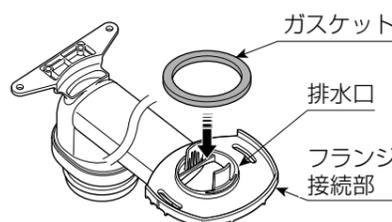
排水アジャスターソケットは必ず後壁に対して平行に取付けてください。  
※ 斜めに取付けると便器が斜めに取付き、便器・タンクまたはシャワートイレと壁が干渉する可能性があります。



#### ⚠ 注意 Point 3

- 排水アジャスターソケットの仮置き時に、床面の傾きや不陸を確認ください。  
※ 排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。

- (2) 排水アジャスターソケットにガスケットをつける。  
排水アジャスターソケットを外して反転させ、フランジ接続部にガスケットを付けます。



#### ⚠ 注意

- 既設フランジにフランジ接続部を取付ける際は、既設フランジの中心とフランジ接続部の中心をあわせてください。  
※ フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する恐れがあります。

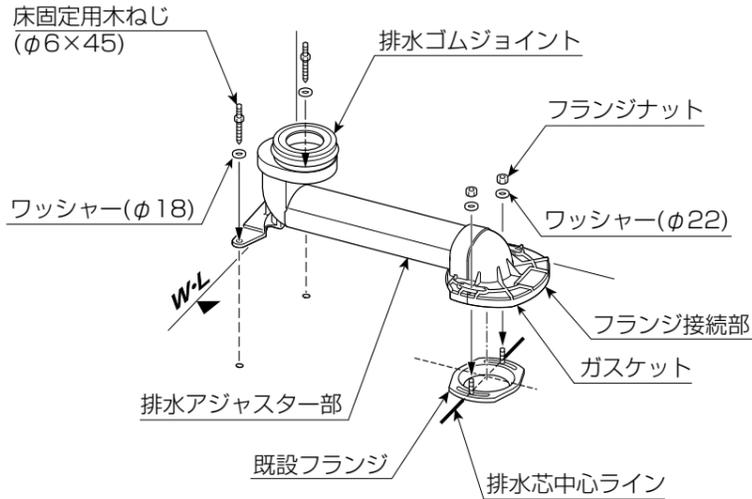
## 5 排水アジャスターソケットの取付け

- (3) 排水アジャスターソケットを既設フランジに固定する。  
再度、排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて、同梱のフランジ固定用ねじ類で固定します。

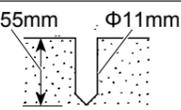
### 注意

- フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。  
※既設フランジが破損し、漏水する恐れがあります

- (4) 排水アジャスターソケットを床に固定する。  
床固定用木ねじ・ワッシャー または AYボルトのねじを使用し固定します。



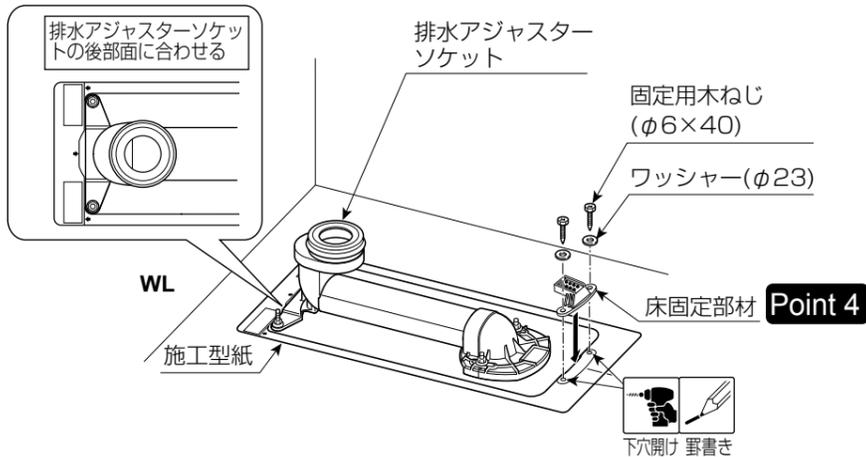
床がタイルまたはコンクリートの場合、AYボルト (AY-86D) を使用するため下穴 (径11、深さ55) を開ける。



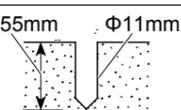
- (5) 排水アジャスターソケットの接続部の漏水確認をする。  
排水ゴムジョイント側から水を流し、接続部から漏水が無いことを確認します。

## 6 固定用部材の位置決めと固定

- (1) 排水アジャスターソケットの後端に施工型紙を合わせる。  
③-(2)で切り離した施工型紙を使用します。
- (2) 床固定部材のけがき・下穴をあける。  
床固定部材取付穴をけがきます。  
施工型紙を取除き、下穴をあけます。
- (3) 床固定部材を固定する。  
固定用木ねじ・ワッシャー、または AYボルトのねじを使用し固定します。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AYボルト (AY-23W) を使用するため下穴 (径11、深さ55) を開ける。

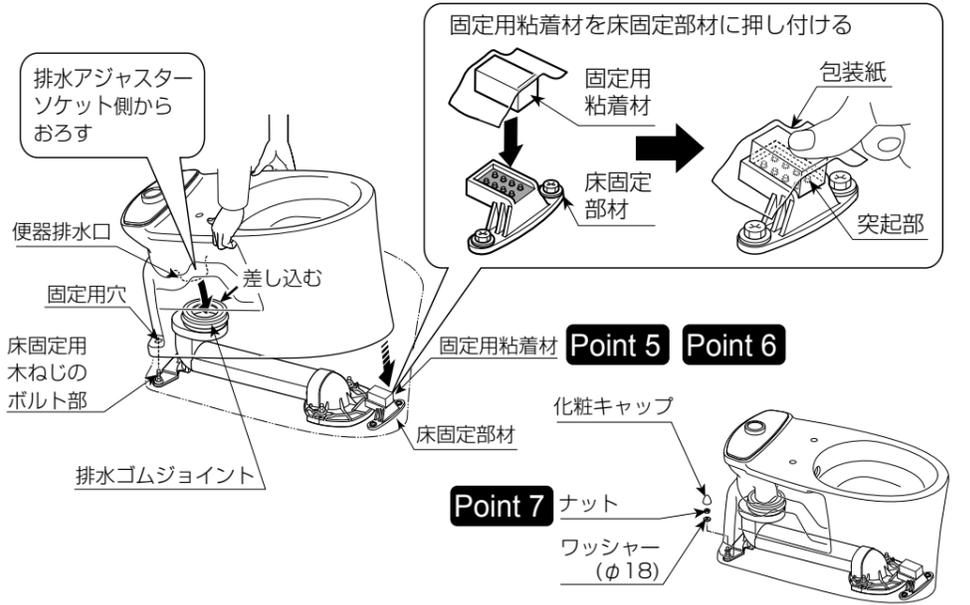


## 7 便器の取付け

- (1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。  
固定用粘着材を床固定部材の上面中心に置き、包装紙を上にかぶせ固定用粘着材が床固定部材の突起部分に全て食い込むまで押しつけます。固定用粘着材を押さえながら包装紙を剥がします。
- (2) 便器と排水アジャスターソケットを接続する。  
床固定用木ねじのボルト部に便器の固定用穴を合わせ、便器排水口を排水ゴムジョイントに差し込みます。
- (3) 便器を固定用粘着材で固定する。  
中心を調整しながら便器先端をゆっくりおろし、便器と床固定部材を固定用粘着材で接着させます。  
便器前側を押し下げ、便器と床との隙間がなくなるまで固定用粘着材を潰します。

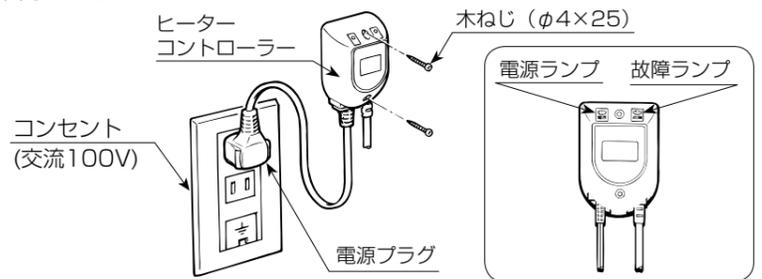
## 7 便器の取付け

- (4) 便器をナットで固定し、化粧キャップをつける。  
床固定用木ねじのボルト部に、ワッシャー・ナットをはめ、便器を固定します。その上から化粧キャップを取付けます。
- (5) 固定状況を確認する。  
便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。



## 8 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

- (1) ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。  
電源コードの長さ (1.5m) を考慮して、木ねじで固定します。
- (2) 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。  
電源プラグをコンセント (交流100V) に差し込み、電源ランプ (オレンジ色) は点灯、故障ランプ (赤色) は消灯していることを確認します。



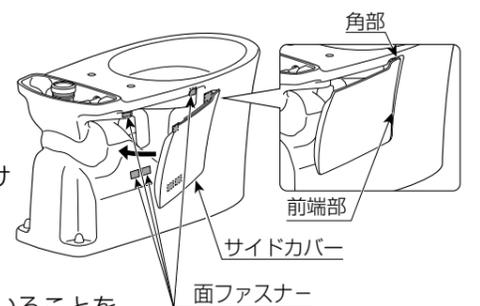
## 9 タンクまたはシャワートイレの取付け

タンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って取付けてください。

- Point 8
- ディストリビューターの保護カバーは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず外してください。  
※施工前に保護カバーを外してしまうと、パッキンにゴミが付着し漏水が発生する恐れがあります。

## 10 サイドカバーの取付け

- (1) サイドカバーを取付ける。  
サイドカバーの角部と前端部を便器に当て、すき間が目立たないように仮付けします。  
サイドカバーの面ファスナー部 (左右各3か所) をしっかり押し付けて取付けます。
- (2) 固定状況の確認をする。  
面ファスナーを軽く押し付けて取付いていることを確認します。



## 便器の取付後のご確認

- ・陶器表面にキズなどがないことを確認してください。  
※便器と金具が接触すると、スジ状の線がつかます。万一スジ状の線がつかしまった場合には、スポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。
- ・施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。  
検査内容は、タンクまたはシャワートイレの施工説明書を確認ください。  
※取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- ・施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。  
※排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
- ・給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。
- ・不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
- ・施工終了後、本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。